

日本労働年鑑 第56集 1986年版

The Labour Year Book of Japan 1986

第一部 労働者状態

I 労働経済の動向

概要

一、一九八四年の日本経済の景気動向は、前年にひきつづき幾分加速ぎみに拡大をつづけた。実質経済成長率は五・七%と高い伸び率を示した。鉱工業生産も対前年比一一・一%という高い伸びとなった。しかし、電気機械など輸出関連業種における好調な拡大とその他の業種における回復の鈍さという八三年にみられた業種別の跛行性が依然としてみられた。

一、一般職業紹介状況も景気回復を反映して明るさがみえはじめた。前年まで低下をつづけた有効求人倍率は上昇に転じた。新規求人数も製造業を中心に大幅な増加がみられた。新規学卒者の就職状況は、大卒でいくぶん改善のきざしがみられたが、全体としては前年にひきつづききびしいものとなった。

一、常用労働者の入職と離職は、八三年にマイナス〇・四%であった入職超過率がプラス〇・一%となり、入職超過に転じた。

一、八四年の労働力人口は五九二七万人で、前年よりも三八万人増加した。完全失業者は一六一万人で前年より五万人増加した。完全失業率は二・七%であった。景気回復にもかかわらず失業率は高い水準で推移した。

一、八四年の就業人口は五七六六万人で、前年より三三三万人増加した。この就業人口の産業別構成は、第一次産業五一二万人(八・九%)、第二次産業一九七三万人(三四・三%)、第三次産業三二六一万人(五六・八%)であった。

一、就業人口中、自営業主は九一九万人(一六・〇%)、家族従業者は五六五万人(九・八%)、雇用者は四二六五万人(七四・二%)であった。

一、八四年の名目賃金の上昇率は、調査産業計で四・五%、製造業で四・六%であった。両者とも前年を上回る上昇率であった。

一、八四年の実質賃金の上昇率は、調査産業計で二・三%、製造業で二・四%であった。消費者物価が安定的に推移し、景気も上向いたことによって実質賃金も上昇の気配をみせた。

一、八四年の労働生産性は高い上昇率を示したが、労働分配率はわずかながら低下した。

一、八四年の平均総実労働時間は、調査産業計で一七六・三時間、製造業で一八〇・五時間であった。前年より前者が〇・九%、後者が一・四%の増加であった。製造業では生産の拡大によって所定外労働時間が大きな増加を示した。

一、最近、日本ではパートタイム労働の増加傾向がみられる。平均週就業時間が三五時間未満の短時間雇用者が雇用者全体に占める比率は男女計で一九六〇年の六・三%から八四年には一〇・五%へと上昇し、とくに女子の上昇は同じ時期に八・九%から二一・一%へと目立っている。

一、パートタイム労働が増加するという傾向は、日本に限らず、アメリカやヨーロッパ各国でも共通してみられる傾向である。そのさい、各国とも雇用者に占めるパートタイム労働者の比率が女子で圧倒的に高く、かつ七〇年代以降上昇するという共通した動きを示している。

一、日本のパートタイム労働者は、産業では卸売小売業、製造業、サービス業の三業種に大半が雇用されている。企業規模では、一〇〇人未満の企業で多くなっている。年齢では、女子の場合三五～四四歳の中年層でパートタイムが多くなっている。女子がパートタイムで就業する理由は、家計補助という理由がもっとも多いが、勤務時間帯の都合という要因も大きく作用している様子がうかがえる。

一、「登録型」の派遣労働者を有する事業所は事務処理業に多く(七六・六%)、ビルメンテナンス業(二・二%)と情報処理業(〇・九%)はきわめて少ない。登録労働者比率は、ビルメンテナンス業(〇・一%)、情報処理業(〇・六%)、事務処理業(六九・三%)となる。

一、男子の割合は、ビルメンテナンス業(三九・三%)、情報処理業(六四・二%)、事務処理業(五・六%)で、事務処理業は女子中心の業種といえる。年齢構成では、ビルメンテナンス業の年齢が男女ともきわめて高く、他方、情報処理業と事務処理業は比較的年齢が若い。

一、労働時間は、ビルメンテナンス業では、一カ月の平均労働日数が長く、一日の労働時間も長い。情報処理業は、一日の労働時間では、ビルメンテナンス業と大きく違いはないが、一カ月の労働日数は短い。事務処理業は、一日の労働時間が短いわけではないが、一カ月の労働日数は短いものがやや多くなる。

一、情報処理業と事務処理業では、派遣先によって決定される就業条件などが多い。

日本労働年鑑 第56集 1986年版

発行 1985年12月5日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年8月15日公開開始

■←前のページ 日本労働年鑑 1986年版(第56集)【目次】次のページ→■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
